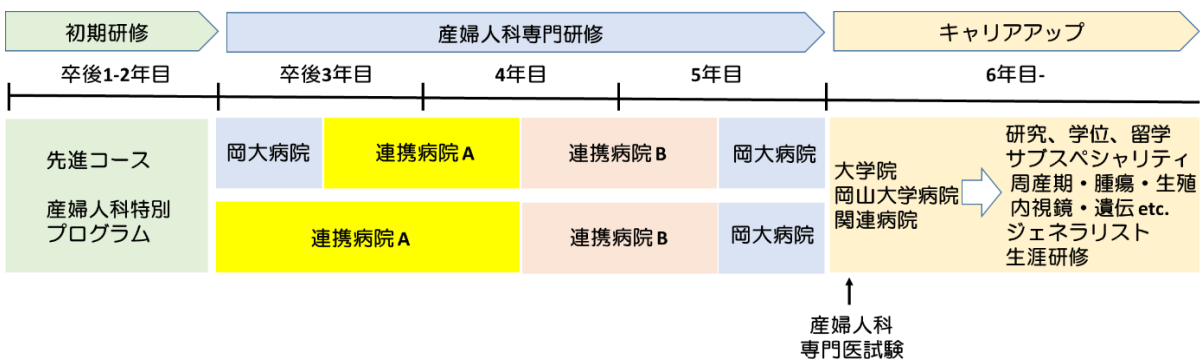


資料3. 岡山大学産婦人科専門医研修コース

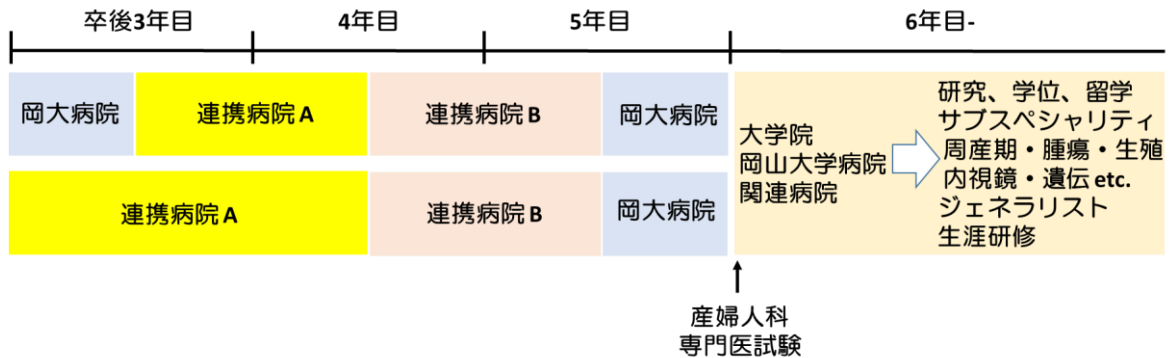
岡山大学産婦人科研修プログラムの特徴

- 1) 初期研修プログラム（岡山大学病院）、産婦人科専門医研修プログラムおよび専門医取得後のキャリアアッププログラムを策定している。
- 2) 卒後5年経過した時点で産婦人科専門医試験が受けられるよう、周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌および女性ヘルスケアの4分野の疾患を万遍なく経験できるよう配慮する。
- 3) 基幹施設に加えて地域の中核拠点病院（3次施設）と地域の病院（1, 2次施設）をローテーションすることにより地域医療特有の産婦人科診療を経験し、地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践できるような研修体制を整えている。
- 4) 全ての領域においてリサーチマインドの醸成および興味を持った領域の基礎・臨床研究を深めるため大学院に入学し、学位研究をすることが可能である。また、国内外への留学も積極的に推進している。
- 5) 産婦人科専門医取得後さらに周産期専門医（母体・胎児）、婦人科腫瘍専門医、生殖医療専門医、女性ヘルスケア専門医、内視鏡技術認定医、臨床遺伝専門医、超音波専門医などのサブスペシャリティの専門医を取得するため岡山大学病院や各専門医研修認定施設にて研修、指導が受けられる。希望者はNICU研修や生殖医療専門施設での研修も可能である。
- 6) 教室の主催する学会、研究会、産婦人科卒後研修セミナー等に参加でき、研修できる。
- 7) 日本産科婦人科学会の主催する各種若手医師プログラム、海外派遣、各種学会参加を援助する。
- 8) キャリアを考える上で、様々なロールモデルとなり得る先輩が在籍しており、アドバイスを受けることが可能である。



岡山大学産婦人科研修プログラム

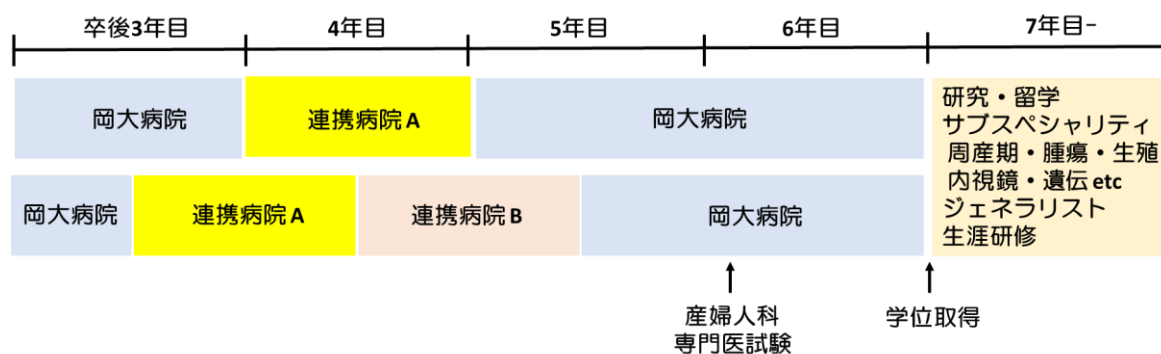
A. 岡山大学病院・連携施設研修コース（募集人数 15 名／年）



- 1) 原則として最初の6ヶ月間は岡山大学病院で研修し、産婦人科臨床の4領域の基礎を研修する。その間に、中国四国産科婦人科学会、全国学会で発表し、論文投稿できるよう指導する。次年度の日本産科婦人科学会での発表を指導する。
- 2) 10月から2年間、性質の異なる二つの連携病院で1年毎の研修を行う。地域の中核拠点病院（3次施設）と主に地域医療を担う病院（1，2次施設）をローテーションすることにより幅広く産婦人科全般の疾患を経験し研修する。
- 3) 地域医療特有の産婦人科診療、地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践できるようにする。
- 4) 最後の6ヶ月は再度、全員岡山大学病院で研修の仕上げを行い、専門医試験に備える。関連病院研修中にライフワークとしたい領域を見つけ、帰局後は関連領域の研究グループに所属し臨床研究、学会発表を行う。
- 5) 研修の3年間は年4回、岡山大学病院で開催する専攻医臨床検討会に参加し、症例検討や岡山大学病院のスタッフによる様々な分野の講義などで深い知識を得ることが出来る。
- 6) 研修期間中に大学が主催する学会、研究会、各種セミナーなどには無料参加できる。
- 7) 3年間の間にNICU研修、生殖内分泌研修を行いたい場合は、岡山大学病院NICUや生殖医療専門の連携施設での研修も可能である。

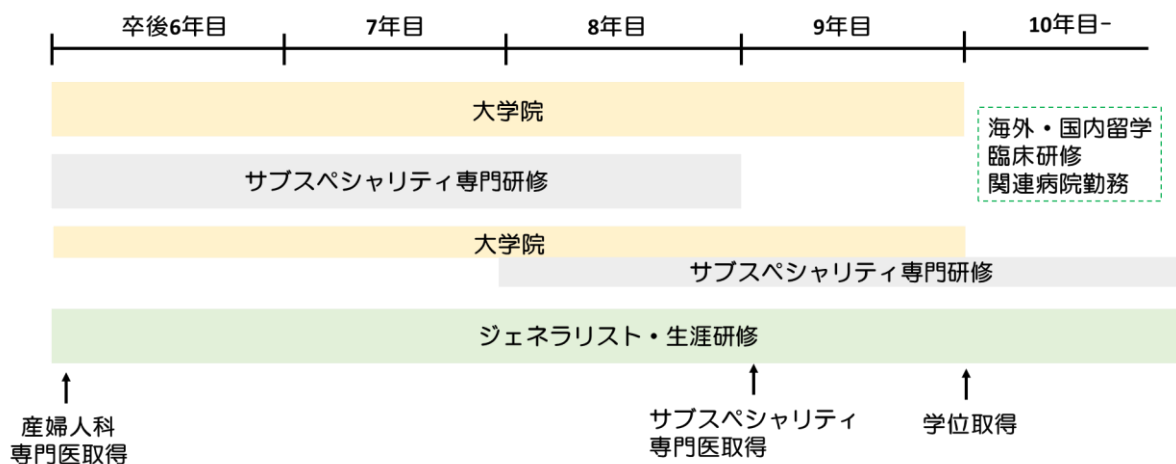
*同期の絆を形成するため、大学と一緒に研修スタートすることを勧めるが、結婚・家庭の事情等で、関連病院から研修スタートする者に対しても、全分野を勉強し専門医取得できるよう配慮する。

B. 大学院・専門医研修コース（募集人員 若干名／年）



卒後3年目から岡山大学大学院に入り、岡山大学病院及び連携施設（1-2年間）にて専門医研修をしながら社会人大学院生として研究を行い卒後5年目に産婦人科専門医、6年目（本コース選択後4年）に学位を取得する。

専門医取得後のキャリアアップ



岡山大学産婦人科研修プログラムは産婦人科専門医取得後にそれぞれのキャリアプランを達成するために以下の専門医資格取得へつながるような「サブスペシャリティ専門医養成コース」やリサーチマインドの醸成および興味を持った領域の基礎・臨床研究を深める「大学院進学コース」も全ての領域で選択することが出来る。両コースを同時または逐次に選択することも可能である。また2分野のサブスペシャリティ取得も推進しており、幅広い視点から治療に当たる医師養成を目指している。ジェネラリストとして産婦人科全般の診療を更に深めたい場合には臨床症例豊富な関連病院でスタッフとして勤務することも出来る。現在、本研修施設群では下記サブスペシャリティ専門医の取得が可能である。

- ・ 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- ・ 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・ 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・ 日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・ 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医
- ・ 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- ・ 日本超音波医学会 超音波専門医

初期研修プログラム

I 岡山大学病院での初期研修

A 産婦人科特別プログラム (定員 3 名/年)

特徴：産婦人科医を目指す研修医にお勧め。大学病院とプライマリー疾患の多い連携病院の双方での産婦人科研修が可能。

必修科	内科(6ヶ月)、救急(救急外来夜間勤務・休日を含む3ヶ月)、 選択必修(3ヶ月:産科婦人科必修2ヶ月及び、外科系、麻酔科、小児科、精神科より1科)、 地域医療(1ヶ月:地域産婦人科医療中核病院)	選択科	産科婦人科を中心として11ヶ月
-----	---	-----	-----------------

産科婦人科プログラムローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	産婦(選択必修) 院内2		内科(必修) 院内6					救急(必修) 院内2		救急(必修) 院外1	精神(選択必修) 院内1	
2年目	産婦(選択) 院外6						地域医療(必修) 院外1	麻酔(選択) 院内3			病理(選択) 院内2	

B 先進コース

特徴：1 - 2 か月間の大学病院産婦人科での研修が可能。

先進プログラム 例1 岡山大学病院中心のローテート(院内23ヶ月+院外1ヶ月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科(必修) 院内6						外科系・麻酔・産婦・小児・精神 (選択必修)院内3			救急(必修) 院内3		
2年目	地域医療 (必修)1	選択科 院内11										

先進プログラム 例2 岡山大学病院と市中病院をローテート(院内11ヶ月+院外13ヶ月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	選択科 院内3		救急(必修) 院内2		救急(必修) 院外1	外科系・麻酔・産婦・小児・精神 (選択必修)院内3			選択科 院内3			
2年目	地域医療 (必修)1	内科(必修) 院外6					選択科 院外5					

II 岡山大学病院以外での初期研修

それぞれの施設での初期研修プログラムにて研修を行う。産婦人科に加えて小児科、麻酔科、放射線科などの関連科での研修が望ましい。